



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日
東・名

上場会社名 コマニー株式会社
コード番号 7945

上場取引所
URL <https://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役
社長執行役員 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員
管理統括本部長 (氏名) 元田 雅博 (TEL) 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,116	2.4	128	—	145	—	△35	—
29年3月期第3四半期	20,631	△1.2	△75	—	△104	—	△301	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 151百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △644百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△4.01	—
29年3月期第3四半期	△33.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,046	21,622	63.5
29年3月期	33,923	21,891	64.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 21,622百万円 29年3月期 21,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
30年3月期	—	23.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.0	1,780	61.9	1,790	56.5	1,000	97.1	112.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	9,924,075株	29年3月期	9,924,075株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,025,425株	29年3月期	1,025,275株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	8,898,740株	29年3月期3Q	8,898,897株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度導入に伴う信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が保有する当社株式(30年3月期3Q 238,400株、29年3月期 238,400株)が含まれております。また、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期3Q 238,400株、29年3月期3Q 119,200株)。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. その他	8
(1) 受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な世界情勢や世界経済の不確実性が及ぼす影響を無視できない状況ではあるものの、政府による経済政策や日銀の金融緩和策を背景として、企業収益及び雇用・所得環境の改善もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社はオフィス市場、工場市場、医療・福祉市場、学校市場を4つの柱として、お客様のニーズに合った提案やサービスの提供を行うことに重点をおき活動した結果、売上高は211億16百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

損益面につきましては、原材料価格高騰の影響を受けましたが、物件毎の収益管理の強化を図りながら利益確保に重点をおいて活動した結果、売上総利益率は前年同四半期と同じ40.7%を維持することができました。営業利益は1億28百万円(前年同四半期は営業損失75百万円)、経常利益は1億45百万円(前年同四半期は経常損失1億4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は35百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億1百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本国内におきましては、オフィス市場、工場市場、医療・福祉市場、学校市場に注力して、当社製品を設計段階で推薦していただく活動(以下「設計織込活動」という。)を推進すると共に、お客様接点の強化を図りながら、お客様のニーズに合った提案やサービスの提供を行うことに重点をおき活動いたしました。各市場の売上高につきましては、オフィス市場は、特に首都圏のオフィスビル移転工事などを狙いとした提案営業活動に注力した結果、需要の改善もあり、前年同四半期と比較し2.4%の伸張となりました。医療・福祉市場は、設計織込活動が成果につながり、主に病院向けの販売が好調に推移したことで、前年同四半期と比較し6.4%の伸張となりました。また、学校市場は、受注が好調に推移し、前年同四半期と比較し7.8%の伸張となりました。工場市場は、当期内の売上案件が減少し、前年同四半期と比較し1.7%の減少となりました。その結果、当セグメントの売上高は204億9百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は3億96百万円(前年同四半期比55.4%増)となりました。

② 中国

中国国内におきましては、強みであるパネル製品を中心にコンピュータールーム市場、病院市場への販売に注力すると共に、販売単価の改善を進めた結果、当セグメントの売上高は7億7百万円(前年同四半期比50.1%増)、営業損失は2億67百万円(前年同四半期は営業損失3億47百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し1億22百万円増加の340億46百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較し3億31百万円増加の202億85百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が20億44百万円減少しましたが、商品及び製品が9億47百万円、現金及び預金が6億75百万円、原材料及び貯蔵品が4億34百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末と比較し2億8百万円減少の137億60百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2億30百万円増加しましたが、有形固定資産が3億46百万円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較し1億81百万円減少の61億15百万円となりました。これは主に、前受金や預り金の増加などにより流動負債その他が8億66百万円増加しましたが、短期借入金が4億52百万円、賞与引当金が4億12百万円、未払法人税等が1億57百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末と比較し5億73百万円増加の63億8百万円となりました。これは主に、長期借入金が5億60百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し2億69百万円減少の216億22百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億55百万円減少したことなどによります。自己資本比率は、前連結会計年度末と比較し1.0ポイント減少の63.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予測につきましては、平成29年4月28日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,047	7,723
受取手形及び売掛金	9,816	7,772
商品及び製品	1,260	2,207
仕掛品	93	131
原材料及び貯蔵品	767	1,201
繰延税金資産	445	461
その他	539	795
貸倒引当金	△14	△6
流動資産合計	19,954	20,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,180	4,051
機械装置及び運搬具（純額）	2,613	2,374
土地	3,426	3,426
建設仮勘定	15	43
その他（純額）	146	140
有形固定資産合計	10,381	10,035
無形固定資産		
その他	386	420
無形固定資産合計	386	420
投資その他の資産		
投資有価証券	1,176	1,406
長期貸付金	35	33
繰延税金資産	871	802
その他	1,151	1,096
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	3,201	3,305
固定資産合計	13,969	13,760
資産合計	33,923	34,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,034	2,001
短期借入金	961	509
未払法人税等	178	21
賞与引当金	821	409
役員賞与引当金	24	32
その他	2,276	3,142
流動負債合計	6,297	6,115
固定負債		
長期借入金	1,733	2,294
再評価に係る繰延税金負債	331	331
退職給付に係る負債	3,401	3,409
その他	267	273
固定負債合計	5,734	6,308
負債合計	12,032	12,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121	7,121
資本剰余金	7,607	7,607
利益剰余金	8,033	7,578
自己株式	△1,142	△1,143
株主資本合計	21,619	21,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	281
土地再評価差額金	330	330
為替換算調整勘定	△9	19
退職給付に係る調整累計額	△237	△171
その他の包括利益累計額合計	272	459
純資産合計	21,891	21,622
負債純資産合計	33,923	34,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,631	21,116
売上原価	12,229	12,530
売上総利益	8,402	8,586
販売費及び一般管理費	8,477	8,457
営業利益又は営業損失(△)	△75	128
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	18	13
受取賃貸料	12	13
貸倒引当金戻入額	—	7
売電収入	15	15
その他	27	32
営業外収益合計	78	86
営業外費用		
支払利息	29	31
持分法による投資損失	0	0
為替差損	33	6
売上割引	15	12
減価償却費	8	7
その他	21	11
営業外費用合計	107	69
経常利益又は経常損失(△)	△104	145
特別利益		
投資有価証券売却益	105	1
特別利益合計	105	1
特別損失		
固定資産除却損	39	1
減損損失	281	—
関係会社清算損	26	—
特別損失合計	347	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△346	145
法人税等	△44	180
四半期純損失(△)	△301	△35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△301	△35

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△301	△35
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	92
為替換算調整勘定	△500	28
退職給付に係る調整額	102	65
その他の包括利益合計	△343	186
四半期包括利益	△644	151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△644	151
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	24,019	108.5	13,849	110.0
中国	974	126.9	1,507	113.7
合計	24,993	109.1	15,357	110.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
日本	20,409	101.2
中国	707	150.1
合計	21,116	102.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。